※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　新公共」（第一学習社）						
副教材等	改訂版　新公共ノート（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざします。

２　学習の到達目標

a:知識及び技能
　諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
b:思考力、判断力、表現力等
　社会の諸課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や合意形成、社会参画を視野に入れながら構想したことを表現する力を養う。
c:学びに向かう力、人間性等
　よりよい社会の実現をめざして、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1編　公共の扉	第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	a:自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解している。 b:公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 c:公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 副教材提出	定期考査 ノート提出	ノート提出 授業態度
2	第2編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	第1章 法的な主体となる私たち 第2章 政治的な主体となる私たち	a:政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 副教材提出	定期考査 ノート提出	ノート提出 授業態度
		第3章 経済的な主体となる私たち	a:現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 b: 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:労働問題、市場経済の機能と限界、金融のはたらき、財政の役割と社会保障などについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

3	第3編　持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①地球環境問題 ②資源･エネルギー問題 ③生命倫理 ④国際社会の課題	a:これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 b:その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 c:現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 副教材提出	定期考査 ノート提出 レポート作成	 ノート提出 授業態度 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度